

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年4月15日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月15日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、4月19日の（4）ですけれども、原子力部門の責任者との意見交換会。年に2回ぐらい不定期に行っている、いわゆるCNOとの意見交換というものでありますけれども、こちら側は委員長と山中委員が参加しまして、事業者側は東京電力と関西電力、中部電力、ATENA（原子力エネルギー協議会）が参加することになっています。

議題は4つ書いてありますけれども、書いてある4つの議題それぞれにつきまして、事業者側から取組状況の説明がありまして、それを受けて制度の改善に向けた要望などがあれば、そういうことも話されるということのようです。

次が、4月19日の（5）、第1042回の審査会合です。

議題は1つでありまして、東海第二の特定重大事故等対処施設の工事計画認可ということで、特重なのでこれは非公開となっています。

次が、4月22日の（8）、1Fの事故の知見の規制への取り入れの作業チームによる事業者の意見聴取会合ということでありまして、これは議題は1つで、水素防護に関する事業者からの意見聴取ということです。

これは昨年12月に作業チームが水素防護についての論点のようなものを整理しまして、その後、事業者から意見を聞きましょうということになっていたものの第1回目の会合です。事業者側は、BWRの各事業者が参加することになっています。

4月22日の（9）、プラント安全技術評価検討会です。

これは、安全研究プロジェクトのうち、昨年度に終わった1つのプロジェクトの事後評価と、中間年度を迎えた1つのプロジェクトの中間評価を行うのですが、それに当たって外部有識者の意見を聞くための会合ということになります。

次が、4月22日の（10）、第1043回の審査会合です。

議題は1つで、大間の地質構造についてということで、前回、昨年6月25日ですけれども、そのコメント回答ということになります。

あと、1点、今週火曜日のブリーフィングで間違えて説明したので、この場でも訂正を

しますと、今週の水曜日の非公開の臨時会議の議題で、美浜発電所の核物質防護規定の審査書の取りまとめというのがあったのですけれども、それは今年3月の審査基準の改正を受けた申請への審査書と言ったのですけれども、正しくは3年前です。平成31年4月の審査基準改正を受けてのものということだったので、ちょっと勘違いをして間違っていました。申し訳ありません。

あと、ゴールデンウィークの日程なのですけれども、5月2日から始まる週は、委員会定例会、委員長会見、あと、このブリーフィングのいずれもありません。いろいろな会議類も恐らくないのではないかと思います。29日の金曜日、これも休日なので、このブリーフィングはありませんで、このブリーフィングは、26日火曜日の次は、5月10日火曜日ということになっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—